

夏の富士山



日本計量新報

計測と科学

日本計量協会

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: jic@jic.or.jp

Yamato

業界初の振動除去機能を
搭載で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

"UDS-1V/1VD"



天和産業株式会社
電話 03-571-0181



富士山に登っておこうとずっと考えていたところへ、荷物を担いでやるから一緒に登ろうと1月に誘いを受けておりました。標高3,776mの日本一高い山にへこたれずに登るのは大変だと感じながら登山のための調査をずっとしていたのです。誘ってくれた人と一緒に出かける前に「1人で登っておきます」とも宣言していました。私の1人で富士登山は富士スバルラインを利用しての河口湖口コース(吉田口ともいう)と決めていましたから、マイカー規制前に決行しなければなりません。2005年のマイカー規制は7月27日から始まり、8月31日までの36日間です。予定が詰め込んでいるので7月21日から22日の間しか行動する日がありませんでした。21日の朝は気分が良かったのです。「よし行こう」と車を走らせて、吉田口5合目を正午に歩き始めました。ゆっくりゆっくりと言いつつも小休止を折り込んで足を運び、頂上に達したのは午後7時15分でした。日が西に傾くの追いかけようとしての行動のフィナーレは夕焼けでした。登高も標高3,000mほどの7合目になると息切れがしますが、立ち止まって呼吸を整えることで次の行動が可能になります。無理はしないと決めていても、リュックには7リットルの水入と食べ物、装備を入れているので重量は15kgほどに

なります。8合目の富士山ホテルに荷物を預けたあとの歩行の軽さから、荷物の負担がよく分かりました。用具は雨具などに限定して、途中の山小屋に食事と水を頼ると軽快な富士登山ができます。500ミリリットルのペットボトルは500円、カップヌードルは400円ですが、軽快に行動するのならこれに頼るのもいいでしょう。この日は偶然にも満月のお月さまが私の登頂を待っていたかのように北東の空に顔を出して、薄明かりで足下を照らしておりました。富士山は5合目より上には樹木がないので満月の月明かりによって河口湖口下山道は行動できたのです。ヘッドランプを利用するよりも月明かりの方が好都合でした。私は山小屋に泊まらずに下山して、午後10時45分に5合目の車に戻ったのでした。この日この時間に下山していたのは私一人でした。下山道は6合目で登山道と合流します。ご来光を見るための登山者をここで大勢見かけるのですが、私の下山とともに富士登山は新しい1日が始まっているのでした。夏の富士山には夜も昼もありません。外国人の児童の登山をよく見かけます。夏の間の山梨県側からの登山者は15万人になりますので、夏は富士山の祭りでもあります。(文と写真は旅行家・甲斐鐵太郎)

(文と写真は旅行家・甲斐鐵太郎)

今週の主な記事

- 夏の富士山
- 電子はかり特集(2)・はかりの生産額(1)
- 電子はかり特集、製品紹介
- 経済と経営アンケート(2)
- 中部7県計量協会協議会特集
- 寄稿・サバイバル物語「ノブラハ 岡崎稔
- 私の履歴書・齊藤勝夫(計量ひんちんXEM
- 統・計量協会の歴史を語り伝えるための経歴運動
- チノ・JCSSの湿度校正登録取得
- 新製品ニュース、都計研技術研修会開く

夏季特集 (3)

8月の
計量計測データバンク
I DとPW

I D: 5070
P W: sjtudbfz

最新の 電子はかり特集 (2)

中部7県計量協 会協議会特集

最新の 電子はかり特集 (2)

経済と経営観測 アンケート (2)